

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（徳永春男委員長、今村智津子副委員長）を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月11日から18日までの実質6日間で慎重に審査を行いました。

市庁舎整備に関すること、（仮称）大牟田未来共創センター、絵本ギャラリー整備、学童保育所・クラブ、病後児保育事業、三池港に関する事など多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果、庁舎整備事業への意見等が相次ぎ、平成31年度一般会計予算については、原案に対して庁舎整備事業費を削減する修正案が議員から提出され、その後の本会議でも修正案が可決されました。

平成31年度一般会計予算を修正、関係条例案を否決

市長から提案された平成31年度の一般会計予算について、歳出の総務管理費を1,600万円減額し、その減額分1,600万円を同じく歳出の予備費に加える修正を行いました。具体的には、庁舎整備事業費を削減する内容です。

また、関係する審議会の設置条例案を否決しました。

修正の理由

今後も見込まれる厳しい財政状況の中、市民とともに乗り越えるには、市民との信頼関係が不可欠ですが、現在提案の市庁舎整備に関する基本方針案は、一定の理解ができるものの、市庁舎本館の取り扱いを含め、十分な市民理解を得ているとは言えません。

また、より具体的かつ客観性の高い調査・研究など、さらなる検討が必要と考えることから、現時点においては、この方針案に基づく事業の推進を了承しがたいとして、31年度予算に計上された庁舎整備事業費を削減するものです。

予算特別委員会の 主な意見・要望（抜粋）

●絵本ギャラリー整備

動物園への影響など、様々な不安の声も多いことから、市民への十分な周知と理解を得た上で進められたい。

また、専門職の人材確保にも努められたい。

●シティプロモーション推進

ジャー坊に特化した情報発信だけではなく、戦略に基づく事業を構築されたい。

●生活保護行政

より適切なケースワークを実現するためにも、人員体制の強化を図られたい。

●地域包括支援センター運営

専門職の確保が困難な状況であることから、全センターが円滑に運営されるよう配慮されたい。

●（仮称）大牟田未来共創センター

地域包括支援センター事業などの課題解決にも取り組んだ上で、関係団体とも協議し慎重に事業を進められたい。

●学童保育所・クラブ

夏休み期間も含め、ニーズに合った受け入れができるよう検討し、充実を図られたい。

●病後児保育事業

様々な課題はあるが、病児保育事業とあわせて事業の再

開ができるよう関係機関と連携・協議を図られたい。

●消防団員加入促進事業

市民の安心安全を守るための活躍を広く市民に周知するなどして、消防団員の確保に努められたい。

●空き家対策推進事業

これまでの事業実績等を活用したソフト面の支援策を含めて、空き家の適正管理、予防、利活用に向けたさらなる事業の推進を図られたい。

●三池港とその周辺整備

重要港湾としての利用促進、市民に親しまれる港となるよう、市民や議会への情報提供、意見集約を適宜行われたい。